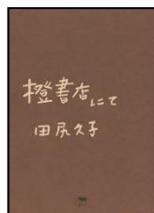


早春号 2020. 2 - 3
VOL.122

大野城まどかぴあ図書館

Hello & Goodbye

寒さも少しずつ緩み、春が待ち遠しい時期になりました。卒園・卒業や引っ越しなど別れを経験したり、新たな環境で出会いがあったり、環境の変化のある時期です。今回は人や物など様々な「出会い・別れ」に関連した本をご紹介します。



『橙書店にて』
田尻 久子／著
晶文社【914.6 外】

熊本で書店を営む店主のエッセイ。橙書店は元々経営していたカフェの隣に書店を開いたことがはじまりで、熊本地震での被災を機に1つにまとまった雑貨&カフェ&作家のトークイベントも手掛ける書店です。「旅先で出会う人や風景のように本と出会える」書店は、本好きの人ならば1度は訪れたい場所かもしれません。書店の魅力は店主の魅力、そう思えた1冊です。



『愛犬ジゼルとの最後の約束』
ローレン・ファーン・ワット／著
三橋 智子／訳
早川書房【645.6 7】

19歳の夏、ローレンは後に体重70キロの大型犬となる愛犬ジゼルと出会う。依存症の母親との関係や仕事のことなど悩みが尽きない中、怖がりだけれど穏やかで優しいジゼルがいつも寄り添ってくれた。ある時ジゼルの異変に気づき、病院に向かうと余命半年と判明…。「(犬のための)死ぬまでにやりたいことリスト」を作り、思い出を増やすうちに、ジゼルの無条件の愛がどれだけ自分を成長させ癒してくれたかを記した、ノンフィクションです。



『ギリシャ語の時間』
ハン ガン／著
斎藤 真理子／訳
晶文社【929.1 A】

徐々に言葉を発することができなくなっていく。女性にとってその症状は“様々なトラウマを抱えた失語症”というには簡単すぎるものだった。一方、徐々に目が見えなくなっていく男性。古典ギリシャ語の教室の生徒と教師として、同じ教室内で交わされる言葉とは？孤独や喪失を感じさせる2人の人生が、著者の静謐な筆致と詩的な文章で描写され、読後は微かな希望を感じさせてくれる小説です。



『大人になってやめたこと』
一田 憲子／著
扶桑社【U 590.4 4】

50代はじめ、日々の生活や家事において「自分のものさし」を再定義し、より自分らしく生きることを考えてみた、という1冊。「～をやめる」というテーマで34項目紹介されています。「すべき」思考でストレスを抱えて無理をせず、楽に生活するためにはどうしたら良いか？人や物との関わり方を見直す著者のコツを参考にしてみませんか？

新「わくわく号」出発進行！！

移動図書館「わくわく号」の運行が始まって約25年。このたび新しい「わくわく号」が発進します。

お披露目もかねて下記の日程で出発式を開催しますのでぜひご参加ください。3代目「わくわく号」もどうぞよろしくお願
いします！！

デザインは昨年8月、まどかぴあ図書館、移動図書館
ご利用の皆さまの投票により決定しました。

【開催日時】

令和2年 **2月28日** (金)
9:15~10:00



【会場】 大野城まどかぴあ ギャラリーモール

- 参加無料
- どなたでも参加できます
(途中入退場可)
- 席数が限られるため立見になる場合
があります
- 式典終了後、記念品を配布します
※ 先着順、なくなり次第終了

《主なスケジュール》

- 9:15 開式 市長ならびに来賓あいさつ
- 9:30頃 「大野ジョー」イラストレーター
いのうえしんぢ氏による
新車両デザインの解説
- 9:45頃 新わくわく号お披露目・見学
- 9:55頃 新わくわく号出発！
大野ジョーくんとお見送り

図書館員のつぶやき

今回は、新人職員のフレッシュなつぶやきです！

窓からの光が差し込んで明るい空間での読書を楽しんでいる利用者の方が毎日たくさん来館されている大野城まどかぴあ図書館に奉仕させていただくことになりました。この図書館情報誌「パララ」は図書館と利用者をつなぐ虹の架け橋という意味があり、本をめくるパララッという言葉をかけた造語です。私も本を通じていろいろな情報を皆さまにご提供できる場所になるような図書館にしていきたいと思っております。新しい素敵な本との出会いがたくさんある一年となりますようにご来館をお待ちしております。(I)

北コミュニティセンターに返却ポストが設置されました

設置場所 ▶ 1階 北市民プール側入り口 チラシ置き場

コミュニティセンターの開館時間(午前9時～午後9時)にご利用いただけます。
 まどかぴあ図書館、移動図書館わくわく号で借りた図書・雑誌の返却が可能です。
 ※ただし、CD・相互貸借資料は不可。

回収日 ▶ 毎週 火曜日・金曜日(午後4時ごろ)

ポストに投函された資料は、図書館が回収するまで貸出中のままです。
 返却期限日が近い資料を投函される際は回収日にお気を付けてください。
 くわしくはポストに掲示している日程をご覧ください。



南コミュニティセンターにも返却ポストを設置しています

設置場所 ▶ 1階 施設利用券売機の横

回収日 ▶ 毎週 月曜日・木曜日(午前11時または午後4時ごろ)



休館のお知らせ

休館日 : 2月16日(日)～2月22日(土)

上記の期間、LED工事のため図書館と移動図書館わくわく号はお休みします。
 ※本や雑誌の返却は、返却ポストをご利用ください
 (CDは、総合案内か警備員室の職員にお渡しください。)



図書館カレンダー

■ 休館日

2月 February

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月 March

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月18日(火)は0歳向けおはなし会(おひざでだっこ)をおこないません

おはなし会

おひざでだっこ

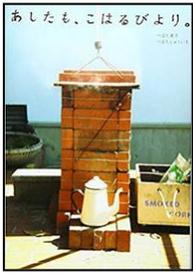
- ◇ 0歳向け... 第1・3・5火曜日
※妊娠中の方もどうぞ
- ◇ 1・2歳向け... 第2・4火曜日
時間: 午前10時30分～午前11時
場所: 3階キッズルーム
定員 30組・10時より整理券配布

わくわくおはなし会

- △ 幼児向け... 第1・3・5土曜日
※3歳以上対象
- 小学生向け... 第2・4土曜日
時間: 午後3時～午後3時30分
場所: おはなしのへや



お す す め の 本



『あしたも、こはるびより。』
つばた 英子
つばた しゅういち／著
主婦と生活社
【U 590 ツ】

つばた夫妻の家にあるキッチンガーデンには、楽しく畑仕事ができるようたくさんの工夫があります。しゅういちさんの書斎の棚には、食事、送った荷物などあらゆることをイラスト入りで細かく記録されたファイルがびっしり。「記録が整理されてストックされていくと人生がだんだん美しくなっていく気がする。」今は独りになった妻の英子さんは夫の「なんでも自分で」を守りながら変わらず丁寧な暮らしを営んでいます。きちんと暮らすとは、今を便利にするだけでなく、どう生きていきたいかの基礎になるのだと二人の暮らしぶりから感じます。(K)



『暮らしが変わる仕事』
田中 のりこ／著
誠文堂新光社
【589 夕】

この本は衣食住や暮らしにまつわるものを作っている女性たちへのインタビューをまとめた一冊です。パン職人、花生師、コーヒー焙煎人や革職人など、取り上げられているのは10組の女性。どのようにその仕事と出会い現在まで続けているのか、暮らしの中で心掛けていることなどが丁寧に掘り下げられています。自分の暮らしを大切にしつつ、「この道でやっていく」という強い気持ちで仕事に向かう女性たちに、しなやかな強さを感じました。読後は手にしたものの作り手や、背景にある物語を思い浮かべてしまうかもしれません。(T)



『戒名探偵 卒塔婆くん』
高殿 円／著
KADOKAWA
【F 効】

戒名とは仏教において故人をたたえ、仏弟子として成仏するために菩提寺から授けられる名前です。古くは奈良時代の聖武天皇にはじまり貴族や武家社会、そして庶民にも広まったといわれています。戒名には故人の生前の社会的地位や経歴も表わされ、その人物の業績を読み解くことができます。寺の次男坊である主人公春馬は、整備予定地で見つかった古い墓石の主の特定を命じられます。困った春馬が頼るのは、やたら歴史や風習にくわしい謎多き編入生の外場くん。男子高校生ふたりの軽妙な掛け合いと、戒名に宿る故人や遺族の思いの深さに心洗われる作品です。(O)

ご来館の際は図書を入れるための袋（エコバッグなど）をご持参いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

みなさまの作品（イラスト、エッセイ、詩）、書評やパララへの要望など、お寄せください。郵送または館内のご意見箱へどうぞ。
(作品返却、掲載予定のお返事はできません)



梅の花
散り乱ひたる岡びには
鶯鳴くも春かたまけて

おすみのさかんかじのはちまろ
大隅 榎氏 鉢麻呂

『万葉集』巻五 八三八より



つどい・ふれあい・はばたく
大野城まどかぴあ図書館

公益財団法人 大野城まどかぴあ
〒816-0934 福岡県大野城市曙町2丁目3番1号

TEL 092-586-4010
<http://www.madokapialibrary.jp/>

モバイルサイトはこちら→

